

地域計画

策定年月日	令和 7 年 3 月 27 日
更新年月日	令和 7 年 5 月 15 日 令和 7 年 6 月 13 日 令和 7 年 7 月 15 日
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	筑西市 (082279)
地域名 (地域内農業集落名)	下館西地区 (伊讚美 小川 伊佐山 川島(下川島) 女方 大谷 上平塚 下江連 五所宮 山崎(西)(東) 西山田 森添島 子思儀 小埜 灰塚 掉ヶ島)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	1,069 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	691 ha
② 田の面積	633 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	433 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	135 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	559 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	209 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	117 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・本地域は、鬼怒川・大谷川流域を中心として肥沃な水田地帯が広がっており、水田の約9割で基盤整備が行われ効率的な水稻作付が可能となっている。また、土地利用型作物以外にもイチゴや花きなどの園芸作物、畜産なども行われている。
- ・畑地は荒廃農地発生が懸念されることから基盤整備の導入について検討していく必要がある。
- ・農業者の高齢化による離農増加と後継者不足が危惧されることから、新たな担い手の確保と農地集積・集約化が急務である。
- ・駅周辺など住宅密集地と近接する農地では農作業時の粉塵や騒音などへの苦情が懸念される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・基盤整備により担い手への農地集積・集約化を推進し、大型機械の導入による低コスト化や土地利用型作物への転換等を図り地域内外の担い手が一体となって農業経営の規模拡大に資するよう努める。
- ・土地利用型作物以外にも園芸作物など多様な担い手を育成し経営力の向上を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。 ・農地利用は、認定農業者等が主に営農し、今後も地区外の経営体と連携して農地を受け入れていく。 			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	49.2	%	将来の目標とする集積率
			50.3 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、担い手農業者の意向を踏まえ農地利用最適化推進委員と調整し農地中間管理機構を通じて進めていく。 			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、担い手農業者の意向を踏まえ農地利用最適化推進委員と調整し農地中間管理機構を通じて進めていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
<ul style="list-style-type: none"> ・農用地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ段階的に集約化を図る。その際、農業委員や農地利用最適化推進委員と調整し、地権者の貸付意向の時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、更なる大区画化・汎用化等の基盤整備について地域の意向を踏まえ検討する。 ・既存の用排水路等については、土地改良区を中心に適切に保全していく。 ・畑地は未整備農地が多いため、基盤整備の導入について検討していく必要がある。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外から意欲のある多様な経営体など担い手として育成を進めるため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産性向上のためスマート農業技術を活用した農作業受委託等の農業支援サービスの展開を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="radio"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="radio"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="radio"/> ③スマート農業	<input type="radio"/> ④畑地化・輸出等	<input type="radio"/> ⑤果樹等
<input type="radio"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="radio"/> ⑦保全・管理等	<input type="radio"/> ⑧農業用施設	<input type="radio"/> ⑨耕畜連携等	<input type="radio"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害に対する獣害捕獲、追い払い等に取り組み、今後も猟友会や鳥獣被害対策協議会の支援を受け農業被害を抑制する。
- ③スマート農業技術を活用した農作業受委託等の農業支援サービスの展開を図る。
- ⑦用排水路の補修及び農道整備など地域一体で取り組み、農業用施設の維持管理を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	水稲・麦・大豆・ソバ	8.0 ha	ha	水稲・麦・大豆・ソバ	8.0 ha	ha	a3	
2	認農	水稲	4.0 ha	ha	水稲	4.0 ha	ha	c3	
3	認農	水稲	12.0 ha	ha	水稲	12.0 ha	ha	c4	
4	認農	水稲	1.0 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	c5	
5	認農	水稲・麦	5.1 ha	ha	水稲・麦	5.1 ha	ha	c6	
6	認農	水稲・麦・ソバ・梨	4.0 ha	ha	水稲・麦・ソバ・梨	4.0 ha	ha	b26	
7	認農	水稲	1.7 ha	ha	水稲	1.7 ha	ha	c8	
8	集	水稲・麦・大豆	22.1 ha	ha	水稲	22.1 ha	ha	b35	
9	認農	水稲・麦・大豆	10.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	10.0 ha	ha	c10	
10	認農	水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	c11	法人
11	認農	水稲・麦	0.0 ha	ha	水稲・麦	0.0 ha	ha	c12	法人
12	認農	水稲・麦	12.0 ha	ha	水稲・麦	12.0 ha	ha	c13	
13	認農	水稲・麦・梨・ぶどう・もも	1.0 ha	ha	水稲・麦・梨・ぶどう・もも	1.0 ha	ha	a20	
14	認農	水稲・麦	4.0 ha	ha	水稲・麦	4.0 ha	ha	c15	
15	認農	水稲・麦・大豆	20.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	20.0 ha	ha	c16	
16	認農	水稲・麦・大豆・ソバ・ネギ	1.0 ha	ha	水稲・麦・大豆・ソバ・ネギ	1.0 ha	ha	d58	
17	認農	水稲・麦	15.0 ha	ha	水稲・麦	15.0 ha	ha	c18	
18	認農	キャベツ	2.6 ha	ha	キャベツ・ほうれん草他	10.8 ha	ha	a22	法人
19	認農	ネギ	1.0 ha	ha	ネギ	1.0 ha	ha	c20	
20	認農	人参	0.7 ha	ha	人参	0.7 ha	ha	c21	法人
21	認農	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	c22	
22	認農	水稲・麦・大豆	51.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	51.0 ha	ha	c23	
23	認農	水稲・麦・大豆	1.1 ha	ha	水稲・麦・大豆	1.1 ha	ha	c24	
24	認農	水稲・麦・大豆	6.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	6.5 ha	ha	c25	
25	認農	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	a46	
26	認農	水稲・麦・大豆	30.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	30.0 ha	ha	c28	
27	認農	水稲・麦・大豆	4.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	4.5 ha	ha	c29	
28	認農	水稲	5.7 ha	ha	水稲	5.7 ha	ha	c30	
29	認農	水稲・麦・大豆	10.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	10.0 ha	ha	a48	
30	認農	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	c32	
31	認農	水稲・麦・大豆	2.3 ha	ha	水稲	2.3 ha	ha	c33	
32	認農	水稲・麦・大豆	10.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	30.0 ha	ha	c34	法人
33	認農	水稲・麦・大豆	4.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	4.0 ha	ha	c35	
34	認農	水稲	5.1 ha	ha	水稲	5.1 ha	ha	a60	
35	認農	水稲	1.1 ha	ha	水稲・麦	1.1 ha	ha	c37	
36	認農	水稲	6.5 ha	ha	水稲	6.5 ha	ha	c38	
37	認農	水稲・麦	3.8 ha	ha	水稲・麦	3.8 ha	ha	c39	
38	認農	水稲・麦	3.9 ha	ha	水稲・麦	3.9 ha	ha	c40	
39	認農	水稲・麦・梨	0.0 ha	ha	水稲・麦・梨	3.0 ha	ha	b32	
40	集	水稲・麦・大豆	28.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	28.0 ha	ha	c42	
41	認農	水稲・麦・大豆・ソバ	15.0 ha	ha	水稲・麦・大豆・ソバ	15.0 ha	ha	a15	
42	認農	水稲	2.7 ha	ha	水稲	2.7 ha	ha	c44	法人
43	認農	水稲・麦・大豆	7.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	7.5 ha	ha	c45	
44	認農	イチゴ	0.0 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	c46	
45	認農	水稲・麦・大豆	4.8 ha	ha	水稲・麦・大豆	4.8 ha	ha	c47	
46	認農	水稲・玉ねぎ	2.5 ha	ha	水稲・玉ねぎ	2.5 ha	ha	c48	
47	認農	水稲・麦	3.4 ha	ha	水稲・麦	3.4 ha	ha	c49	
48	認農	水稲・麦・大豆・ネギ	7.6 ha	ha	水稲・麦・大豆・ネギ	7.6 ha	ha	c50	
49	認農	水稲・麦・大豆	15.1 ha	ha	水稲・麦・大豆	15.1 ha	ha	c51	
50	認農	いちご	0.7 ha	ha	いちご	0.7 ha	ha	c52	
51	認農	水稲・麦・大豆	45.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	45.5 ha	ha	c53	
52	認農	水稲	4.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	4.5 ha	ha	c54	
53	認農	水稲・いちご	18.0 ha	ha	水稲・いちご	18.0 ha	ha	c55	
54	認農	水稲・麦	17.0 ha	ha	水稲・麦	17.0 ha	ha	c56	
55	認農	水稲・麦・大豆	1.1 ha	ha	水稲・麦・大豆	1.1 ha	ha	a42	
56	認農	水稲・麦・そば	8.0 ha	ha	水稲・麦・そば	8.0 ha	ha	c59	
57	認農	水稲・麦・大豆	20.0 ha	ha	水稲・麦・大豆	20.0 ha	ha	a52	
58	認農	イチゴ	0.3 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	c61	
59	認農	水稲・麦・大豆	11.5 ha	ha	水稲・麦・大豆	11.5 ha	ha	c63	
60	認農	水稲・麦・大豆・ソバ	25.0 ha	ha	水稲・麦・大豆・ソバ	25.0 ha	ha	c64	
61	認農	水稲・飼料米・二条大麦	14.0 ha	ha	水稲・飼料米・二条大麦	14.0 ha	ha	c62	
62	認農	トウモロコシ	0.2 ha	ha	トウモロコシ	0.8 ha	ha	c65	

